

## 【スペシャルオリンピックス日本 理事長 有森裕子様にご講演会をしていただきました】

## スペシャルオリンピックスの講演会を実施

スペシャルオリンピックス日本（以下 SON）理事長である有森裕子様にお越しいただき、ブラボグループ社員にスペシャルオリンピックスのお話をさせていただきました。

スペシャルオリンピックスの活動は知っていても、直接お話しをお伺いするのは初めて。有森氏から語られる想いは、参加者の胸を打つものばかりでした。

今回のレポートでは、当日お話しいただいた内容をご紹介しますので、ぜひ最後までご覧くださいませ。



SON 理事長 有森裕子様

## 「スポーツを通じて知的障害のあるアスリートの可能性を広げる意義や魅力について」

SON との関係の始まりは 2002 年。

SON は「知的障害者の方に【スポーツの場を提供する】団体だと知り衝撃を受けました。当たり前でできると思っていたスポーツをできなかった人がいたということとその時初めて知ったのです。

当初から今も変わらず思うのは、スポーツの場を提供する事で彼らを応援したいということです。スポーツは可能性を引き出せるのです！私は頑張っている彼らを通して、応援している人も元気になってもらいたいとも思っています。

実際に見に行くと感じることはたくさんあります。自分をもっと頑張れるかもしれないと思うかもしれないし、応援し合うことの素晴らしさを感じるかもしれない。関わり感じることで生まれる良い変化を周囲が感じ取り、素晴らしい連鎖がおきます。



何か競技ができる人には、是非ユニファイドスポーツをお勧めしたいです。

ユニファイドスポーツはスペシャルオリンピックス発祥の概念で、障害者と健常者が共に一つのチームでスポーツをプレイするものです。

知らない人は障害者たちがどこまで何が出来るのか分からないので、色々な決めつけをしてしまいがちです。

ところが実際にプレイを見たときその想像を打ち破ります。

一緒にプレイすることで、健常者はコミュニケーションを学び、障害者は積極的に頑張ろうと相互に成長します。

更にそれを見聞きした人は、一緒に何かできる場があるのではないかと気づくのです。  
社会で共に生きていく可能性を、ユニファイドスポーツで知っていくことが出来るのです。

問題なのはチャンスがあるかないかです。能力の問題ではありません。

なぜならマラソン男子知的世界記録保持者（日本人）のタイムはなんと2時間23分！です。

これからの課題は、指導者のレベルを上げること。  
それが競技者のレベルを上げる第1歩になるのです。

(2017/12/13 講演会より)



講演終了後、現在ブラボグループがFacebookで行っている  
「BRAVO Jump And Move Challenge」（18/1 まで開催）を  
有森様と社員で行いました。  
<<< Facebook の投稿はこちらを読み込むとご覧いただけます。



## 情熱にふれることで動き出す思い

当日参加したスタッフやトレーナーチームからは、下記のようなコメントがあがりました。

- ・正直スペシャルオリンピックスの活動について知らなかった。  
今回の話を聞いて、まずは見学に行くことから始めたいと思う。
- ・スポーツをできるのは当たり前だと思っていたので、知的障害の方はスポーツに触れる機会が無い、  
ということさえ気づけなかった。一緒にスポーツをして自分も変わりたい。
- ・有森さんの強い思いと運営されているスタッフのみなさんの情熱が伝わり、感動しました。

有森様の口から語られる内容に、その情熱に、参加したメンバーも今までとは違う思いが動き出したように感じます。  
こうした思いが私たちだけでなく、MOVE NOW! のチャリティ活動を通じ、  
少しでも皆様の心に届けることができるようにしたいと改めて痛感させられました。

有森様、SON のスタッフの皆様、この様な貴重な機会をいただきありがとうございました！



<<< SON 公式ホームページ  
見学やボランティア詳細については  
こちらの QR コードを読み込み、  
SON のウェブページをご覧ください。



<<< JapanGiving 募金ページ  
ブラボグループでは現在 JapanGiving を通じて  
募金を受け付けております。（18/3 まで）  
ご興味がありましたら是非ご覧ください。